

I. 一般目標 (General Instructional Objective)

心臓血管外科疾患を有する患者の診療に携わることにより、心臓血管外科臨床の基礎的知識、技術を習得する。

II. 行動目標 (Specific Behavioral Objectives)

1. 心臓血管疾患

心臓血管疾患の診断、治療について理解する。心臓血管疾患では術中の人工心肺や術後の補助循環など専門的な知識と技術が必要とされるが、これらについての基本的な事項を理解する。

2. 循環呼吸管理

心臓血管疾患手術後の管理、特に循環呼吸管理について理解する。人工呼吸器管理、循環治療薬を理解し、またSICUにおいては集中治療の実際を修得することができる。

3. 症候・徴候を判断し、診断に役立てることができる。

胸痛、胸部絞扼感、動悸、心不全症状、下肢虚血症状、唝声、拍動性腫瘍など

4. 診断に必要な診察法、検査に習熟し、臨床応用ができる。

心臓血管の診察(視診、聴診、触診)

- ・特に心臓血管の触診、聴診で異常拍動や異常心血管の雑音を判断できる。
- ・心電図、心エコー検査、血管エコー検査などを理解できる。
- ・心臓血管系のCT検査を読影でき、治療に反映できる。
- ・心臓カテーテル検査を理解でき、十分に治療に応用できる。

5. 主な心臓血管疾患を理解し、その鑑別診断ができる。

大動脈弁狭窄症・閉鎖不全症、僧帽弁狭窄症・閉鎖不全症、虚血性心疾患(狭心性、心筋梗塞)、大動脈解離、胸部大動脈瘤、胸腹部大動脈瘤、腹部大動脈瘤、閉塞性動脈硬化症、下肢静脈瘤、静脈血栓症、心房中隔欠損症、心室中隔欠損症、心内膜欠損症、動脈管開存症、大動脈縮窄症、Fallot4徴症など

III. 方略 (Learning Strategies)

病棟・外来でのトレーニング、学会参加(スライド作製、発表、症例報告など)、カンファレンスなど

IV. 経験できる疾患・手術など

久留米大学心臓血管外科においては、福岡県南部の基幹病院として、TAVR(経カテーテル大動脈弁置換術)、ステントグラフトによる胸部・腹部大動脈瘤治療、補助人工心臓移植など最先端の手技を含め、心臓・血管疾患に対する手術を年間に約600例に対して行っている(冠動脈バイパス術・弁置換・弁形成術・大動脈瘤切除人工血管置換・末梢動脈バイパス術・静脈瘤に対するレーザー手術など)。臨床研修医は、手術に助手として参加し、心臓血管の臨床解剖、また皮膚縫合・結紮などの外科基本手技を修練する。また、ICUでの術後管理においては循環・呼吸管理の実際について学び、胸腔穿刺・中心静脈カテーテル留置などの手技についても経験してもらうことができる。

V. 評価 (Evaluation)

Minimum EPOC、症例発表による自己評価・指導医評価。指導医・看護師などによる形式的評価。

VI. 指導者と研修施設

1. 診療部長 田中 啓之
2. 指導責任者 庄嶋 賢弘
3. 指導医 庄嶋 賢弘
4. 研修施設 久留米大学病院

VII. 週間予定

月	7:30	ICU回診
	8:00	手術
火	7:30	ICU回診
	8:30	病棟連絡会
	9:00	病棟主任教授回診
	15:00	術前カンファレンス
水	7:30	ICU回診
	8:00	手術
木	7:30	ICU回診
	8:00	手術
	17:00	ハートカンファレンス
金	7:30	ICU回診
	8:00	手術
土	9:00	ICU回診
	9:30	病棟回診

